

# 「教員として留学生にどう接するか

## ー授業や研究指導を通して」

### スケジュール:

13:30-13:40

#### ごあいさつ

木俣元一氏(名古屋大学高等教育研究センター長)

13:40-14:00

・留学生受け入れに関する教員アンケートから得られた示唆

松浦まち子氏(名古屋大学留学生センター教授)

14:10-14:50

・教員として外国人留学生を受け入れる際の課題

ー授業や研究指導を通してー

上原麻子氏(常磐会学園大学教授)

### 休憩

15:00-15:40

・日本での留学経験において直面した課題

ー授業や研究指導に関してー

管斌氏(上海财经大学国際文化交流学院講師)

15:50-16:10

・留学生の研究指導から学んだこと:私の経験より

岡田亜弥氏(名古屋大学大学院国際開発研究科教授)

16:10-16:30

### 総合討論

### 趣旨

教員が授業や研究指導を通して外国人留学生と接する場合、どのようなことに留意すべきなのだろうか。名古屋大学の留学生数は1500人を突破したが、彼らの受け入れ手続き、授業、研究指導、研究室の人間関係などにおいてさまざまな課題が存在している。それらの課題をどうやったら軽減・解決できるのだろうか。本セミナーでは、実際に多くの留学生を受け入れている名大教員、留学生相談を担当している教員、帰国留学生の三者の立場から、教員と留学生の関係を良好なものにするための方法を議論し、提案したい。

日時: 2010年12月16日(木) 13:30-16:30

会場: 東山キャンパス 文系総合館7階 カンファレンスホール  
名古屋市千種区不老町1  
地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口から徒歩3分

主催: 名古屋大学留学生研究会、同高等教育研究センター  
同留学生センター

問い合わせ先: 近田 政博 (高等教育研究センター 准教授、内線5692)  
chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp